

平成12年第1回教育委員会記録

平成12年1月12日(水)

杉並区教育委員会

教育委員会記録

| | | | | | |
|--------------|----------|------------------|--------------|-----------------|--|
| 日 | 時 | 平成12年1月12日(水) | | 午後1時35分～午後1時50分 | |
| 場 | 所 | 教育委員会室 | | | |
| 出席委員 | | 委員長 舟 生 清 | 委員長 大門 哲 | | |
| | | | 職務代理者 | | |
| | | 委員 鬼丸 かおる | 委員 丸田 頼一 | | |
| 欠席委員 | | (なし) | | | |
| 出席説明員 | | 教育長 與川 幸男 | 学校教育部長 栗田 和雄 | | |
| | | 庶務課長 伊藤 重夫 | 学務課長 和田 義広 | | |
| | | 施設課長 横山 薫 | 社会教育部長 辻 武 | | |
| | | 指導室長 石倉 敏雄 | 社会体育課長 三木 均 | | |
| | | 振興課長 木下 勝男 | 中央図書館長 古川 正司 | | |
| | | 社会教育センター所長 土佐 和男 | 中央図書館 赤井 則夫 | | |
| | | | 次長 | | |
| 事務局職員 | | 庶務課係長 伏見 博 | 振興課係長 若林 茂 | | |
| | | 法規主査 能任 敏幸 | 担当書記 後藤 行雄 | | |
| 傍聴者数 | | 0 名 | | | |

会議に付した事件

- 報告案件**
- 1 平成12年度就学通知書の発送について
 - 2 教育委員会後援等名義使用承認について
 - 3 高井戸東小学校における児童転落事故について

委員長（舟生） ただいまから平成12年第1回杉並区教育委員会定例会を開会いたします。本日の署名委員に大門職務代理者を指名いたします。今日は、報告案件が3件ございます。1番、「平成12年度就学通知書の発送について」、学務課長お願いいたします。

学務課長 それでは私から、平成12年度の新入学予定者就学通知書の発送状況についてご報告いたします。お手元にA4の資料が1枚配付してございます。まず、12年1月6日現在の杉並区住民登録でございますが、小学校が3,141名、中学校が3,628名ということで、この日で押さえまして7日に発送しております。発送の対象外者、国公立等が決まっている方ということですが、小学校については225名、中学校が23名でございます。中学校が非常に少ないのですが、これから試験ということで決まってまいりますので、今後人数が増えると考えております。

内訳ですが、記載のとおり国立・私立入学者が224名、中学校で10名。就学猶予・免除申請者が中学校1名ということで、あと、学年変更者。これは、小学校は該当しません。中学校が2名、都立養護学校入学予定者が小学校で1名。その他への転出者は中学校で10名ということで、これは、外国在住先が決定している方でございます。発送保留者ですが、現在、就学相談中の、小学校30件、中学校4件で、住民登録がある方で、発送できる方は、小学校2,886名、中学校3,601名となります。

その下ですが、これ以外の方で、いわゆる住民登録をされていない方といたしますが、そういう方の入学対象者ということで、人数が多いのは、外国人就学者、あるいは何らかの事情により住民登録をせず就学される方ですが、E欄になります。総計では、小学校が39名、中学校が23名でございます。内訳ですが、外国籍の方が小学校30名、中学校18名、住民票の異動ができず杉並区に就学申請する方が、小学校5名、中学校3名です。あとは、学年変更者でございます。

就学相談中の方は、小学校4名、中学校2名ということで、発送が35名と21名。合わせまして、小学校の発送件数が2,921名、中学校が3,622名で、昨年が小学校2,908名で13名増、100.5%。中学校3,600名で22名の増、100.6%となっております。私からは以上でございます。

委員長 質問はございませんか。

（「ない」の声）

では、2番「教育委員会後援等名義使用承認について」、振興課長お願いします。

振興課長 それでは、新規のみご説明申し上げます。新規は振興課の4番、BOX美術館

実行委員会でございます。内容はBOX美術館ストリートということで、小中学生が現代美術に触れることで新たな創造性を呼び起こすということを目的としまして、区役所ロビー、杉並会館等に40cmの箱の中にいろいろな物をいれて現代美術に触れさせるということで、テーマは「平和2000年」ということでございます。その次が6番「山彦の会」ですが、ミュージカル「山彦ものがたり」ということで、これは有吉佐和子脚本で、山彦についてミュージカルを行うものでございます。東京芸術劇場が会場です。

その次は、社会体育課の4番「杉並アヤックス」で「ゴールキーパーのためのトレーニング講習会」でございます。内容は、小学校5年生から中学校2年生までのキーパー希望者。それとキーパーについて学びたい大人が対象で、上井草スポーツセンターのグラウンドと会議室で行う予定です。新規は以上でございます。件数等は記載のとおりでございます。

委員長 なにかございますか。

(「なし」の声)

それでは、指導室長から報告があります。

指導室長 昨日1月11日、3学期の始業式がございました。始業式が終わりましてから、高井戸東小学校で事故がございました。始業式後、1年1組の教室で掃除を行っていたときに、女子児童が、2階の教室の窓から転落いたしました。

12時10分、校長から指導室に一報がありました。それによりますと、事故を聞いて、校長、教頭が駆けつけたところ、呼びかけに反応して泣き出しました。すぐに救急車を呼び、養護教諭及び担任が同乗しまして、杏林大学病院に搬送いたしました。

教育委員会では、一報後、直ちに指導主事を学校と病院に派遣し、情報の収集を行いました。その結果、この窓は、耐震補強工事行った窓で、掃除のために開けられた窓に児童は登り寄りかかっていたと思われること。下がコンクリートであったこと。事故後他の児童がかなり動揺していることなどが、情報としてありました。一方、病院からは、児童が搬送中に意識不明となり、診断の結果、頭蓋骨骨折で非常に危険な状態であるとの情報でした。その後、5時15分ごろの連絡で、CT検査の結果、出血はあるが、手術の必要は現状なく、ドクターの声に反応しているとのことで、意識の回復が見られたとのことです。ただ、後遺症については、残る恐れがあります。

今日の状態ですが、12時40分に校長から連絡があり、現在、症状に変化はなく、医師の話では、1週間程度集中治療室に入院となるだろうとのことです。後遺症については、症状が安定してきた段階で、どのような障害がでるか現状想定できないとのことで、様

子を見ているところとのことです。

お見舞ですが、母親からしばらく様子を見てからとの話があり、見合わせております。

学校における保護者への対応ですが、児童より事故のことを聞いており、説明会の要望があるようですが、PTAや事故児童の保護者の方と相談し、当面児童の状態が安定するまで待っていただきたいとのことで、一応校長名で、再発防止の心構えについて保護者あてに通知いたしました。

特に現在峠を越えておりますが、児童の回復を祈りつつ、事故のおきた状況や学校の指導体制など調査の上で、再発防止のため明らかにしてまいりたいと考えております。

委員長 施設面での瑕疵というか。問題点も教育委員会としてしなければならぬと思います。やはり、教室の窓に補強用の2本の棧があって、施設面で不安な点もあるのではないかと思います。

施設課長 今日も9時から先ほどまで、話しておりましたが、今後も耐震補強がございますので、現状より安全性を高められる方法等を検討しなければならぬとの結論になるのですが、他の最良の方策がなかなか見つかりません。窓にはあがらないのが一番で、そのためには、格子でも付けなければということになってしまいます。

鬼丸委員 このような事故が起こると、設備と先生の指導の2点が問題になるのだろうと思うのですが、設備については、施設課長のお話のとおり窓にしっかりした格子でも設置しなければ転落を防げないと思います。低学年の児童は少しの隙間でも転落の危険があると思うのです。ですから事情があったのでしょうが、1年生を2階にあげたことが問題になるのかなと思います。それと先生が掃除の仕方をどのように指示したのか、そのところが問題になると思います。

いずれにしても、このような事故を100%防ぐのは無理だと思いますので、事故によって学校が変に萎縮しないように教育委員会として対応することが重要ですので、よろしく願いいたします。

委員長 ほかにございませんか。指導室長、事故が起こった以上は、最善を尽くして事後処理にあたることが重要だと思いますので、よろしく願いいたします。

以上で、本日の会議を終了いたします。